



ISUMI CITY  
ASSEMBLY

# いすみ議会だより

発行：いすみ市議会 編集：議会だより編集委員会 2009.11.1 発行  
〒298-8501 千葉県いすみ市大原7400番地1 TEL 0470-62-1406 (議会事務局)

ホームページアドレス <http://www.city.isumi.lg.jp/> メールアドレス [gikai@city.isumi.lg.jp](mailto:gikai@city.isumi.lg.jp)



起震車による大地震の揺れを体験しました

## 【主な内容】

- \* 平成21年第3回定例議会概要 2ページ
- \* こんなことを決めました 2ページ
- \* 委員会審査報告・決算審査報告 4ページ
- \* 一般質問 6ページ

第16号

平成21年

第3回

定例議会



# 平成21年第3回定例議会

平成20年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定など20件を審議しました。



第3回定例議会は8月26日から9月18日までの24日間の会期で開催されました。  
 この定例議会では、市長から提出された平成20年度いすみ市一般会計歳入歳出決算の認定についてほか13議案が審議され、採決の結果いずれも原案のとおり可決・認定されました。  
 このほか、請願2件採択、陳情1件不採択とし、議員提出による決議案1件、国会等に対する意見書の提出にかかる議案2件が提出され、審議の結果それぞれ可決されました。

平成20年度各会計決算総括表

会計名		予算現額	歳入	歳出
一般会計		16,577,566,466円	15,431,220,068円	14,684,338,654円
特別会計	国民健康保険	5,541,771,000円	5,578,383,465円	5,354,783,579円
	老人保健	504,728,000円	504,948,059円	501,801,177円
	介護保険	2,959,513,000円	2,980,568,438円	2,894,548,533円
	後期高齢者医療	403,595,000円	395,726,700円	393,342,579円
水道事業会計決算		収入		支出
収益的収入及び支出		1,661,068,677円		1,727,134,000円
資本的収入及び支出		497,051,000円		1,372,711,029円

## 市長提出議案

◎いすみ市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部を改正する条例の制定

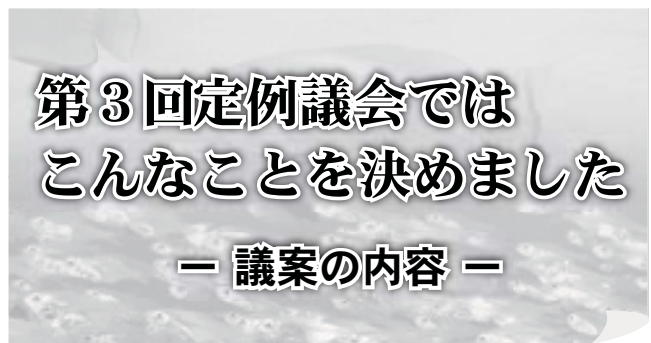
【全員賛成・可決】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

(新たに放課後児童クラブを東海小学校内及びみさき児童館内に開設するため、条例の一部改正をしたものです。)

◎いすみ市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定



【全員賛成・可決】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

（出産育児一時金の支給額を平成21年10月1日から平成23年3月31日までの出産については39万円とするものです。）

◎平成21年度いすみ市一般会

計補正予算

【全員賛成・可決】

〔付託委員会〕

各委員会の所管ごとに分割付託

◎備品の取得

【全員賛成・可決】

〔委員会付託省略〕

市内バス運行車両3台（小型ノンステップバス）

・契約方法  
随意契約

・契約金額  
444万5千172円3角

・契約の相手方  
千葉日野自動車株式会社

・納入期限  
平成21年11月30日

◎いすみ市集出荷場の指定管

理者の指定

【全員賛成・可決】

〔委員会付託省略〕

（いすみ市集出荷場を有限会社夷隅町農産物直売所に指定管理者として指定するもので、期間は平成21年10月1日から平成26年9月30日です。）

険特別会計補正予算

【全員賛成・可決】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

（歳入歳出にそれぞれ8622万9千円を追加し、予算総額を30億9683万6千円としたものです。）

◎平成21年度いすみ市水道事業会計補正予算

【全員賛成・可決】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員

（収益的収入に2057万5千円を追加し、収入総額を16億7826万円とし、収益的支出を1198万7千円を減額し、支出総額を1億2152万7千円としたものです。また、資本的収入に761万3千円を追加し、収入総額を5億5842万4千円とし、資本的支出に2089万2千円を追加し、支出総額を11億2135万4千円としたものです。）

その他の議案等

◎平成21年度いすみ市介護保

◎平成21年度いすみ市国民健康保険特別会計補正予算

【全員賛成・可決】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

（歳入歳出にそれぞれ7822万4千円を追加し、予算総額を55億3184万5千円としたものです。）

化に関する法律に基づく平成20年度健全化判断比率について【報告】（表1）

◎地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく平成20年度健全化判断比率について【報告】

水道事業会計の資金不足比率は該当なし（資金不足額なし）との報告でした。

（表1）健全化判断比率の状況（平成20年度）

指 標	国の定める基準		いすみ市
	早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	13.32%	20%	赤字なし
連結実質赤字比率	18.32%	40%	赤字なし
実質公債費比率	25.00%	35%	13.9%
将来負担比率	350.00%	—	141.5%

○早期健全化基準とは

実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率のいずれかが早期健全化基準以上となった場合は、早期健全化団体となり、「財政健全化計画」を作成して、議会の議決、市民への公表が義務付けられます。また、その計画の実施状況を毎年度議会に報告し、市民に公表することとなります。

○財政再生基準とは

将来負担比率以外のいずれかが財政再生基準以上になると財政再生団体となり、「財政再生計画」を作成し、議会の議決、市民への公表が義務付けられます。この計画については総務大臣の同意を得ないと、災害復旧事業等を除く地方債の起債が出来なくなるため、道路整備や学校施設整備等がなかなか進まなくなる可能性があります。

請 願

◎「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願書

【全員賛成・採択】

〔付託委員会〕

文教常任委員会

◎「国における平成22（2010）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

【全員賛成・採択】

〔付託委員会〕

文教常任委員会

陳 情

◎現行保育制度に基づく保育施策の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

【全員反対・不採択】

〔付託委員会〕

民生環境常任委員会

議員提出議案

◎石井博議員に対する辞職勧告決議について

【可決同数 議長裁決・可決】

〔委員会付託省略〕

◎義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について

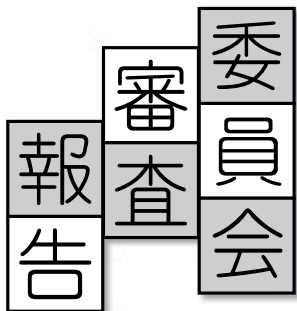
【全員賛成・可決】

〔委員会付託省略〕

◎国における平成22（2010）年度教育予算拡充に関する意見書について

【全員賛成・可決】

〔委員会付託省略〕



9月2日と3日に、各常任委員会が開催され、委員会付託された議案等を審査しました。

ここでは、紙面の関係で、委員会で行われた主な質疑及びその答弁について掲載いたします。

総務常任委員会

議案1件について審査を行いました。

議案第5号 平成21年度いすみ市一般会計予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 ふるさと応援寄附金の件数及び寄附金の使途の指定状況は。

答 寄附の件数は6件、使途の指定については、健康関係2件、高齢者福祉1件、文化・スポーツ関係1件、福祉1件、子供の為1件です。

問 「国際交流事業の平和の鐘鐘楼建替設計について」現在の姿を変えるような設計となるのか。

答 基本的には現在の形を引き継ぐような形で考えています。



▲ 鐘楼の建替が行われます

民生環境常任委員会

議案6件、陳情1件について審査を行いました。

議案第1号 いすみ市放課後児童健全育成事業に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 放課後児童クラブが2ヶ所新設されるがその定員数は。

答 放課後児童クラブ「とうかいこどもルーム」は20名、「第二げんキッズ」は30名の予定です。

議案第5号 平成21年度い



▲ 夷隅統合保育所予定地 - 柿沢グラウンド -

すみ市一般会計予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 「統合保育所整備事業の不動産鑑定料について」鑑定を行う面積は。

答 グラウンド用地の一部として借用している私有地で、鑑定する面積は約1000㎡です。

**産業建設常任委員会**

議案1件について審査を行いました。

議案第5号 平成21年度いすみ市一般会計予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 土地改良維持管理事業の維持管理適正化事業補助金の内容は。

答 夷隅川土地改良地区管理の松堀汐止堰ゲートの整備改修工事で、現在、木製の板を手作業で設置・撤去して満水時等の作業が非常に危険なため、自動式に改修するもので、事業費の15%、375万円を補助する予定です。

また、太東第2土地改良区管理の中原堰幹線用水路の改修工事は、現在の用水路断面では十分な用水量を確保できないため、新たにU字溝を改修するもので、同じく34万5千円を補助する予定です。

問 「市道維持管理事業の橋

梁点検委託料について」今の予定箇所は。

答 点検場所は、橋長15メートル以上で、重要交通避難路や緊急時の重要路線が想定される場所の橋梁を中心に行います。

市道に架かる15メートル以上の橋梁は55橋あり、そのうち24橋が点検済みで、本年は夷隅地域2橋、大原地域8橋、岬地域2橋の合計12橋を予定しています。

また、この診断結果に基づき橋梁の修繕等が必要になった場合は、国庫補助対象事業として補助が受けられる予定です。

**文教常任委員会**

議案2件、請願2件について審査を行いました。

議案第5号 平成21年度いすみ市一般会計予算のうち、本委員会の所管するものについて

問 「中根小学校非常階段防犯扉設置工事について」設

置する扉は災害時に簡単に開閉できるのか。また、児童の避難に支障は無いのか。

答 扉の材質はアルミ製で、内側からセンターロック式の鍵のかかる軽量なドアで、災害時には児童が中から鍵を開けて避難できます。

問 「大原中学校グラウンド設備整備工事設計委託料について」どのような整備計画なのか。

答 老朽化しているバックネットの改修及び野球場の一部を暗渠化する計画です。



▲ より良いグラウンドへと整備されますー大原中学校ー

**決算  
審査  
報告**

平成20年度一般会計及び各特別会計決算を審査するため、8名の委員をもって構成する決算審査特別委員会を設置し、9月8日、9日の2日間にわたり委員会審査を行いました。

各会計の決算審査にあたっては、予算が議決どおり適正かつ効率的に執行されたかどうかを重点に審査を行い、活発な質疑が行われました。

なお、9月18日の定例議会最終日に、委員長がこの審査の内容と結果を報告し、全ての決算議案が認定されました。

また、今後の行財政運営に反映させるよう検討されるべく、市当局に対し次の事項を委員会より要望しました。

1. 市税並びに特別会計における目的税等の徴収につい

ては、住民負担の公平性の確保の観点から、収入未済額及び不納欠損額を最小限にするための方策を進めるとともに、今後、更なる収納率の向上を図りたい。

2. 補助金の交付にあたっては、「いすみ市補助金の交付に関する基本指針」の交付基準に基づき、十分に内容を精査し、事業効果や公益性の観点から健全な財政運用を図りたい。

3. 市の主要施策である定住促進については、各種調査や研究により得たデータベースを有効活用し、ガイドブックやリーフレットを作成し配布することに加え、映像や画像等もインターネット等を通じて発信し、いすみ市の魅力を広く啓発され、人口増加に向けた取組を更に推進されたい。



Q&A

一般質問

市政をきく

第3回定例議会の一般質問は、8月28日に9名の議員により市政に関する諸問題について活発な議論が展開されました。

ここでは、紙面の関係で要約した質問及び答弁の一部を掲載いたします。

なお、一般質問及び議案の審議状況等、会議録をご覧になりたい方は、いすみ市のホームページ又は夷隅文化会館、大原文化センター及び岬公民館の各図書室で閲覧することができます。(第3回定例議会の会議録は11月下旬に公開を予定しています。)

市長の政治姿勢

元吉 基 議員

答

未来に向けてのまちづくりの土台づくりを実行するため再度市政を担う行動をする

元吉議員

太田市長は、合併直後という大変難しい時期を新しいいすみ市のかじ取りをされたわけですが、合併の目的、目標に沿った市政運営をされ、旧3町の一体化を着実に進められるとともに、市民生活の向上に大きな成果を上げられたことは高く評価すべきものと考えます。

市長の任期4年間も余すところ4カ月ほどとなりましたが、そこで4年間の市政運営を自身でどのように評価されているか、そして次期市長に出馬する意思があるかどうか伺いたい。市長 いすみ市の誕生の一翼を担ったものとして、常に

心に市民が幸せに暮らせ、未来に希望のある地域にしたいとの思いを持って、市政を担う立場にある者として、考え、行動してきました。

合併後、行政組織を見直し、行政改革を実行し、新たな財源を行政改革から生み出せるような行政体質への転換を図ることから着手しました。

いすみ市が他の市や町から魅力ある地域にすることが一番大切なことだと考え、この4年間は、新市建設計画を基に、旧3町の継続事業の実行、財政の立て直し、今やるべきことの実行と将来のまちづくりのた

めの種まきなどを常に心に置いて運営してきました。

また、若い方々が住みやすいいすみ市づくりをすること、市外からの移住、定住を進めることにより、人口減に歯止めをかけることなど、課題が山積してきます。特に、地場産業、福祉、子育て、教育にいすみ市らしい特色を今後出していき

たいと思います。未来に向けてのまちづくりの土台づくりを実行するため市民の皆さんのご理解のもと、再度市政を担うための行動をしてまいりたいと思いま

す。

【元吉議員は、この質問のほか、「環境問題」、「各種イベント事業」について質問しました。】

市長のいすみ市政の取り組み

岩井 豊重 議員

答

人と自然の輝く健康・文化都市  
いすみの実現を目指す

岩井議員 合併という新たな

組み合わせの中で行政を進めてきましたが、このことがいすみ市にとってどうであったか。合併による成果点、後退点、残された点など総括的に伺いたい。

また、これからの抱負として、どのような市にした

いという基本的な考えについて伺いたい。

市長 合併による成果点については、財政面では、行政改革による経費の削減、集中改革プランに基づく職員数の削減などにより、人件費の削減が効果として大きくなってきています。



▲ いすみ健康マラソン  
—スポーツを通じて地域の魅力を発信—

また、合併市町村補助金、ふさのくに補助金、合併特例債等合併による国・県の財政支援を受けての市道の整備、消防施設整備、学校の建設整備、防災行政無線の統合事業などを実施し、着実に成果を上げています。

住民サービスでは、小学校児童の医療費助成、学童保育、病後時保育、延長保育、市内バスの運行、福祉タクシー制度の充実、旧3町のサービスの均一化を図りながらより充実した福祉サービスの提供に努力して来しました。

観光面では、旧3町の恵まれた観光資源を有効に使い、PRに努め、今日では、いすみ市は自然豊かな、住みやすい市として全国に知れ渡りつつあります

また、市民が知恵を出し合い、まちづくりを進める大きな力が生まれ、職員も市を盛り上げたいとの気持ちで仕事面に大きくプラスになってきています。

合併の効果は着実に上がっていると思いますが、後退点について挙げると、国民健康保険税が均一課税に統一されたことにより、地域によっては増額となり、市民に負担を強いたことが上げられます。これについては、今後の大きな課題と考えています。

残された点では、4万余人にふさわしい市役所にすることが課題であると思います。組織について、経営中核部門の強化や保健福祉等の専門職の配置など、地方分権の受け皿としての行政体制の整備のさらなる推進を図っていくことが重要であると考えます。

今後の抱負は、市民と行政との連携・協働を基本にまちづくりを推進し、総合計画のテーマである「人と自然の輝く健康・文化都市いすみ」の実現を目指します。

【若井議員は、この質問のほか、「環境を守る」、「バイオマスタウン構想」について質問しました。】

## 災害対策 (土砂災害、家畜・ペットの対応)

熱田 彰司 議員

答

- ・市において訓練を実施しているが、関係機関と連携し、より周知を図る
- ・災害時のペット対策は研究していく

熱田議員 7月の西日本を襲ったゲリラ豪雨で大規模な土石流が発生し、大きな被害となった山口県防府市では、特別養護老人ホームが土石流の直撃を受け、多くの犠牲者が出ました。また、台風9号により兵庫県佐用町等でも、多数の犠牲者を出している。その一因に、避難勧告等の情報伝達の遅れが指摘されています。情報伝達のあり方も含めて、土砂災害対策の考えを伺いたい。

また、災害時は、人命第一は当然であるが、牛や豚等の家畜を飼育している方々やペットとともに暮ら

している方は、災害時の扱いは深刻な問題です。災害緊急時の家畜、ペットの取り扱いについての考えを伺いたい。

市長 市としては、土砂災害全国統一防災訓練の中、情報伝達訓練を防災月間である6月に実施しています。

また、7月に土砂災害の発生するおそれのある行政区に対し、夷隅地域整備センターが主体となり、土砂災害に対するお知らせのチラシを回覧しました。内容は、土砂災害防止対策推進の一環として、土砂災害が発生する恐れのある地域の地形等の把握及び土砂災害

警戒区域等の指定を目的とし、市内の危険箇所について調査を実施するもので、その調査結果により、土砂災害警戒区域等に該当する場合、関係住民に対し、土砂災害への危険、警戒避難の十分な周知に努めます。

**総務部長** 災害時という特殊な事態においての家畜、ペットの対応について、避難所では、大勢の避難者が一時的に居住されるので、避難生活する上で一定のルールが必要であると考えます。

ペットの存在は、飼い主にとつては全く気にならないものでも、他の者は、動物アレルギー、鳴き声、さらには衛生面の問題により、多大なストレス等となり、共同生活を営む避難所では、ペットとの同居は極めて困難なものと考えられます。

災害時におけるペット対策は、県で作成した避難所運営の手引きに、ペット対策について検討してありますので、それを参考にして

市としての災害時におけるペット対策のあり方について、よりよい方法を研究していきたいと考えます。

また、家畜の災害時の対応は、災害発生危険区域で避難される場合、その地域に入ることは人命の危険性が伴いますので、基本的には、家畜等についての対応は、考えていません。

【熱田議員は、この質問のほか、「高速料金値下げと観光振興策」、「森林の整備と温暖化対策」について質問しました。】



▲市内で起きた土砂災害(平成19年7月発生)

## 肺炎球菌ワクチンの公費助成制度の拡充

田井 秀明 議員

答

肺炎球菌予防接種年齢の引き下げは実行の方向で検討する

**田井議員** 現在、新型インフルエンザが流行していますが、高齢者がインフルエンザに罹患すると、二次的に肺炎に罹患する確率が高く、インフルエンザに伴って肺炎に罹患した場合に、重症化します。

一般的に65歳以上の高齢者の方が肺炎になると、2週間から4週間の入院加療を要するケースが極めて多く、当然医療費もかさみます。特に、保険加入者の7割が国民健康保険への加入者であるいすみ市の場合、財源に非常に深刻な影響を及ぼします。そこで、新型インフル

エンザを含めたインフルエンザの二次感染で肺炎になるのを防ぐために、そして医療費の削減を実現する一助にするためにも、ワクチン接種の公費補助の対象を現在の75歳から65歳に引き下げてはどうか伺いたい。

**市民生活部長** 肺炎球菌予防接種助成事業については、平成20年1月から開始し、現在まで297名の方に助成をしています。

市では肺炎球菌ワクチンの予防接種年齢を75歳以上に設定した理由は、日本では一生に1回しか接種できないこと、いすみ市の死亡統計上80歳前後の死亡率が

一番高いこと、接種の効果が5年持続するということを考慮して、75歳に設定したものです。

現在、新型インフルエンザが世界的に大流行し、今後、秋冬に向かつてさらなる流行が懸念されている中、世界保健機構や日本感染症学会が高齢者への肺炎球菌ワクチンの接種を勧めています。

市では接種年齢の引き下げについて、勝浦市夷隅郡医師会に意見を伺ったところ、65歳へ引き下げても特に支障ないという回答により、肺炎球菌予防接種年齢の引き下げについて実行する方向で検討します。

【田井議員は、この質問のほか、「保育料の値下げまたは無料化」、「ひとり親世帯の支援」、「学校及び保育所におけるアレルギー物質除去食対応」、「中学卒業まで医療費無料化」、「重度身体障害者の支援」、「ごみ処分場問題」、「太田市政の総括」について質問しました。】



## 市有地の活用 (布施地区名熊地先)

鈴木 麗子 議員

**答**  
有効活用が図られるよう検討する

鈴木議員 布施地区名熊の田  
辺宅の利用について、平成  
10年11月に土地と母屋が旧  
大原町に寄付され、10年が  
経過しました。庭の草は毎  
年刈られています。今後  
どの様な利用方法を考えて  
いるのか伺いたい。

総務部長 布施地区名熊田辺  
宅の利用については、寄贈  
された後、市では草刈り、  
庭木の剪定等、維持管理を  
行っています。建物につい  
ては建築からかなりの年月  
が経過し、物件内外至ると  
ころ経年劣化が進んでいま  
す。これを利用するには、  
かなりの補修が必要です。  
寄贈されてから10年間の  
間に、利用形態等の協議を  
行いましたが、具体的な使  
用目的の決定に至っていま

せん。

市の貴重な財産ですの  
で、有効活用が図れるよう  
引き続き検討をしていきたく  
いと考えています。

鈴木議員 田畑もあることか  
ら、作物をつくる喜びなど  
を考えた利用や親子で遊ぶ



▲寄贈された宅地の様子

里山体験などを実施したら  
どうか。

総務部長 宅地の他に農地が  
ありますが、ニーズに合っ  
た形態で利用できればと考  
えます。地域プロモーション  
室等で、定住に向けての  
いろんなアクションを起こ

していますので、それと合  
わせて体験型農業に使用す  
ることも可能と思います。

【鈴木議員は、この質問のほ  
か、「健康福祉」について質  
問しました。】

## 景気対策（定額給付金及びプレ ミアム商品券の経済効果）

高梨 庸市 議員

**答**  
・定額給付金の景気対策は効果が有り、未  
受給者への対策を行う  
・プレミアム商品券は好評であり追加の発  
行を行う

高梨議員 定額給付金の給付  
状況は、また、10月13日が  
申請期限だが、未受給者へ  
の通知はされているのか。

市としての定額給付金効  
果の評価はどうか。消費に  
回り、地域経済活性化のた  
めに役立っていると評価さ

れているのか伺いたい。

市民生活部長 2月1日現  
在での対象世帯が1万66  
61世帯あり、4月6日に  
一斉に申請書を送付しまし  
た。この送付において郵便  
が届かず、返ってきたのが  
107通あり、実態調査を

行い対応してきました。6  
月の時点で、1111世帯  
の未申請者があり、再度申  
請を促す通知を送付しまし  
た。

8月27日現在で未申請者  
が577世帯、この世帯に  
ついては簡易郵便で申請書  
を再度送付しました。

また、ひとり暮らし等に  
ついては、できるだけ申請  
していただくよう努力しま  
す。

定額給付金の効果は、4  
月末での給付額が 6億  
4777万円の支給ですの  
で、各家庭において、何ら  
かの形で活用され効果はあ  
ると考えています。

高梨議員 定額給付金の給  
付による地域経済活性化の  
一環として、給付金をプレ  
ミアム商品券にかえて使用  
してもらおう、昨年に続  
き二度目の発行をしている  
が、費用対効果を市はどう  
見ているか。

また、景気対策事業とし  
て、今後実施する予定は  
あるのか伺いたい。  
市長 国の定額給付金に合わ  
せて、4月30日に発行した

プレミアム商品券は、前回の販売では完売となり、地域活性化に一定の効果があつたことから10月5日より再発売されました。  
1万1千円の商品券を1万円で市内各地区販売所で取り扱っております。



プレミアム商品券は、6月中旬で完売しました。効果についての評価ですが、1億1千万円が市内に商品券として流通していることから、厳しい状況が続く地元経済には大きな経済効果を生んだものと思えます。  
また、商品券発売後も消費者の方から問い合わせ

が多く、その認知度は増加の一途であり、今年度は秋に第二弾の発行がされるので、さらに地元の消費拡大に大きく寄与するものと期待しています。

【高梨議員は、この質問のほか、「補正予算執行状況」、「社会教育」について質問しました。】

## 男女共同参画条例の制定

荒井 正 議員

答  
市民の関心动向を注視しながら検討する

荒井議員 平成21年は、男女共同参画基本法が公布されて10年目です。国でも新たな取り組みも踏まえて参画を進めるための取り組みをする決意をされています。

国は少子化・男女共同参画を特命で大臣まで置いています。市の中でも同じように、男女共同参画の担当部署を設置し女性を配置しての取り組みを行ったらどうか。

また、男女共同参画を進める基盤として、男女共同参画条例を制定したらどうか伺いたい。

総務部長 男女共同参画のこれまでの取り組みは、男女共同参画社会の形成に向け、意識の高揚を図るため、

セミナーの開催、広報・啓発活動を行ってきています。最近では1月17日に勝浦市役所にて、ちば県民共生センターとの共催により、超高齢化社会から男女共同参画を考えるための地域セミナーを開催し、いすみ市からは50名の参加がありました。

県内市町村では、今年4月現在、男女共同参画条例を制定している市町村が56市町村中6市、また男女共同参画基本計画を策定している市町村が31市町村です。市としては県内の制定状況を、市民の関心动向とも注視しながら検討していきたいと考えます。

市の男女共同参画に関

する事業については、市役所内では企画政策課で担当し、今後、男女共同参画基本計画の策定を視野に入れながら、男女平等に関する意識啓発、事業者への働きかけ、男女共同参画の視点による子育て支援など、地域の特性を踏まえつつ、これからの時代に求められた施策に取り組んでいきたいと考えています。

【荒井議員は、この質問のほか、「福祉の充実」、「光ケール敷設」、「庁舎の食堂設置」について質問しました。】



## 教育の問題

(郷土の偉人の功績を教える)

横山 正樹 議員

### 積極的に教育活動に導入する

答

横山議員 私たちの郷土い

すみには、郷土のために生命や財産をなげうって尽力した先人が多くいます。近世での幾つかの例を挙げると、私財をなげうって大高バネ（大高水門）と呼ばれる水門をつくり、夷隅川流域の農民を水害、塩害から守った大高玉治郎氏や、みずからの生命を投じて農民の窮状を訴えた最首全右衛門氏、私財を青少年の教育にと寄贈された高橋貞助氏、そして明治維新を動かした、松下村塾とともに、この地にも以文会という自由民権運動を行った人たちがいたこと、さらに夷隅地区には禅宗の名僧、夢窓国

師や狩野正信ほか、多数の誇れる人たちが活躍していたこと、これらのことを国の文科省からの教育指導だけでなく、こうした地域で活躍した先人たちを、どのように小・中学校教育の中に取り入れているか伺いた

い。

教育長 いすみ市には最首全

右衛門氏等を初め、多くの偉人を輩出しています。郷土において活躍された人たちを、学校においては各学年の教育課程に基づいた中で、身近な素材や歴史的人物として社会科学を中心に各領域で取り扱いをしています。

小学校では副読本「わた

したちのいすみ」を独自に作成し、その中で、明治時代に塩害対策のため水門建築をした岬地区の大高玉治郎氏の活躍や功績等について紹介をしています。

また、苦勞しながら医学への道へ進み、郷土を愛し、いすみ市の教育の一助として基金の創設者である高橋貞助氏などを進路学習の中で紹介し、このように人間的な模範となる生き方においては、道徳教育の中でも生きた資料として取り扱っています。

いづれにしても、次代を担う子供たちが郷土の偉人の功績等を学習することは、郷土愛をはぐくむためにも大変必要であり、郷土の活躍された人たちを、今後積極的に教育活動に導入したいと考えています。

【横山議員は、この質問のほか、「災害対策」について質問しました。】



▲大高バネ 大高玉治郎氏は塩害を防ぐため私財を投入し水門を築いた—大正5年—(夷隅川河口付近)

## 漁港の利活用

中村 松洋 議員

答

漁協が主体となり漁業の振興策についての協議の場が必要

中村議員 市の社会経済構

造を見ると、地元の産業振興が最重要課題だと考えます。基幹産業の一つである漁業が元気になることで市内での購買力も高まり地域経済が潤うと考えています。

主要な水産物のイセエ

ビ、イナダ、タコなどの水揚げ量や水揚げ高が減少し、昨年度は過去最低の水揚げ高であったことから、今後は天然の資源だけに頼ってはいけません。漁業の低迷からの脱却が困難



▲ マダイの稚魚放流(上)  
中学生の漁業教室(下)

になると考えます。

そこで、市内の岩船、大原、太東のそれぞれの漁港の特性を生かした利活用を考え、水産物の養殖・蓄養の事業、また、観光とあわせた漁業を行うことで、振興を促すことが出来るか伺いたい。

市長 市では、獲る漁業から育てる漁業へと資源管理型漁業を推進するため、県、漁業協同組合と連携を図りながら、日本有数の漁場である器械根の資源枯渇防止に努めています。主な事業としてアワビの稚貝放流、規格外のイセエビ、サザ

エの再放流、また、中間育成したヒラメ、マダイの稚魚放流事業に対し支援しているところ です。

なお、漁港を活用した水産物の養殖、蓄養事業については、漁業協同組合が主体ですので、漁協が中心となつて漁業関係団体と漁業の振興等について考える協議の場を作つていただき、市として組合の要請があれば、いつでも協議の場に参加する考えです。

【中村議員は、この質問のほか、「海岸環境保全」について質問しました。】



## 平成21年度いすみ市子ども議会

8月5日に『いすみ市子ども議会』が開催されました。今年市内の小学6年生26名が参加し、通常の議会で行われる一般質問と同様に、子ども議員が市に対し質問を行い、市長はじめ、各部課長が答弁しました。

市政を知るために  
議会を傍聴しませんか。

### 第4回定例議会日程(予定)

11月4日(水) 10時	開会
6日(金) 10時	議案の上程
10日(火) 10時	一般質問
11日(水) 9時	議案質疑
12日(木) 9時	委員会
19日(木) 10時	委員長報告
	議案審議
	閉会

市民生活に直結した重要な問題が審議されている市議会は誰でも傍聴できます。市政への知識を深め、市政を身近に感じるためにも、議会を傍聴してください。本会議は傍聴規則に反しない限りどなたでも傍聴することができます。傍聴の際は市役所大原庁舎4階議会事務局で受け付けをお願いします。

なお、傍聴人数は、先着順で25名までです。